

音楽研究科 博士前期課程 学生募集要項

音楽研究科

博士前期課程

出願期間：令和8年8月19日～令和8年8月26日 締切日消印有効

試験日程：令和8年10月17日、18日

合格発表：第1次選考/令和8年10月18日 午前8時

最終選考/令和8年10月27日 午前11時

入学手続：令和8年12月14日～令和8年12月18日 締切日消印有効

愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程

■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

音楽研究科博士前期課程では、専門領域に関する高度な技能と知識を有し、音楽に関する研究をもって社会に貢献しうる人を求めています。

◎求める人物像

- ・志望領域について基本的な知見と論理を構築する能力を有する人
- ・志望領域について創造性のある表現力や構想力を有する人
- ・高い向学心を有し研究心が旺盛である人
- ・柔軟な思考力と物事に対する洞察力を有する人
- ・学際的研究能力と国際的な感覚を持ち合わせた人

◎入学者選抜試験の基本方針

- ・志望領域の基礎知識や高度な専門能力、語学力と国際的感覚を修得していることを期待しています。
- ・各領域の特性に応じて、その専門性に沿った入学審査を行います。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

音楽研究科博士前期課程は1専攻6領域（作曲、音楽学、声楽、鍵盤楽器、弦楽器、管・打楽器）から構成されており、学部で身につけた専門性を高めることを目指しています。また、領域の枠を超えて開講されるさまざまな授業を横断的に履修することができます。

◎カリキュラムの編成方針

- ・音楽総合研究を中心に、個性、専門性、知見の拡充を目指した領域横断的なカリキュラムを実施しています。
- ・音楽総合研究では、学生個々が年度ごとに研究計画書を作成し、学生の独自性、専門性を尊重しながら、その計画に沿って指導します。
- ・各領域が開設する「特殊研究」には、各専門領域での知見を深める授業のみならず、他領域の授業や、教養教育、或いは美術研究科との連携も含めた複合領域による授業などがあり、領域横断的な研究を行うことが可能となっています。
- ・博士後期課程への研究の継続性を図るため、創作・演奏領域の学生の修了論文（一部選択科目）の指導も行います。

◎学修成果の評価について

- ・学生個々の研究計画書に則り、研究状況と成果を総合的に評価します。

■修了認定・修士授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

音楽研究科博士前期課程は、学部教育を基礎とした音楽専門教育の充実を図りながら、芸術の学問的教育研究に対応した柔軟な教育課程を編成・提供することにより、現代の様々な芸術表現や社会の要請に対応するのみでなく、社会の需要を自ら掘り起こす能力を身につけた人材を養成することを目的とします。

◎学修成果目標

- ・高度な専門性と、領域の枠を超えた学修によって得た幅広い知識、現代社会において音楽に関わることができる能力を身につけます。
- ・国際的な視野を持って芸術文化の発展に寄与できる能力を身につけます。

◎学位認定の方針、評価方法

- ・所定の期間在学し、必要な研究指導を受け、所定の単位を修得した上で「修士作品」又は「修士論文」「修士演奏」の審査を経て、最終試験に合格した学生を修了と認め、修士（音楽）の学位を与えます。

目 次

1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	3
4. 出願書類	3
5. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について	4
6. 出願書類・相談申請書提出先及び受験・研究内容等に関する照会先	4
7. 選抜方法	5
8. 試験日程及び試験科目	5
9. 合格発表	6
10. 入学手続	6
11. 授業料	6
12. 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について	6
13. 入試結果の閲覧	8
14. 個人情報の取扱いについて	8
15. 安全保障輸出管理について	8
16. 教員組織（令和8年4月1日現在）	9
■実技試験内容及び課題曲	11
■令和8年度入学試験実施状況	17
■令和8年度入学試験問題	18
■様式集	
・入学願書	
・入学検定料納付証明書貼付欄／受験者写真票／受験票	
・研究計画書 表紙（音楽学領域）	
・研究計画書 表紙（音楽学領域以外）	
・入学検定料振込用紙	

令和9年度愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科博士前期課程学生募集要項

1 募 集 人 員

音 楽 研 究 科	音 楽 専 攻	領 域	募集人員
		作曲	30 名
		音楽学	
		声楽	
		鍵盤楽器（ピアノ）	
		弦楽器	
		管・打楽器	

2 出 願 資 格

本研究科に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者及び令和9年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月31日までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号） ※1
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに22歳に達するもの ※2

※1 旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者を示す。

※2 出願資格(9)により出願しようとする者は、必ず令和8年7月2日（木）までに入試課に申し出て、令和8年7月9日（木）（消印有効）までに出願資格審査申請書を提出してください。

3 出 願 手 続

(1) 出願期間

令和 8 年 8 月 19 日(水)から 8 月 26 日(水)まで 締切日消印有効

※ただし、日本国外から出願する場合は締切日午後 5 時必着とする。

(2) 出願方法

出願書類を本学所定の出願用封筒を用い「簡易書留速達郵便」により郵送してください。

普通郵便及び直接持参は受理しません。

出願用封筒の表に必要事項を記入し、志望する領域名に○をつけてください。

4 出 願 書 類

(1)～(5)及び出願用封筒は、本募集要項巻末の様式及び本学所定の封筒を用いてください。

(1) 入学願書

様式に必要事項を記入してください。

(2) 入学検定料納付証明書貼付欄・受験者写真票・受験票

それぞれ、氏名、志望領域を記入してください。受験者写真票には、写真 1 枚（縦 4 cm×横 3 cm、正面、上半身、脱帽、出願前 3 か月以内に撮影したもの）を貼付してください。写真の裏面に氏名、志望領域名を記入してください。

(3) 入学検定料 30,000円

ア 入学検定料振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。

イ 「ご依頼人」欄は受験者本人の氏名を記入してください。

ウ 入学検定料の納入は、振込依頼書により令和8年8月12日（水）以降に必ず**金融機関の窓口**で行ってください。ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。

エ 振込手数料は、各自ご負担ください。

オ 検定料納付証明書は、入学検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。

(4) 研究計画書

音楽学領域以外の志願者は、1,200字程度の研究計画書を所定の様式で提出してください。

音楽学領域の志願者は、11ページ「Ⅱ. 音楽学領域の研究計画書」を参照のうえ、所定の期間内に提出してください。詳細については、巻末の研究計画書表紙の記載事項を参照してください。

(5) 返信用封筒（受験票等送付用）

受信地住所、氏名、郵便番号を明記し、**速達郵便料分（410円）の切手**を貼付してください。

(6) 出身大学の成績証明書（本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要）

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(7) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要）

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

（注 1）出身大学が中華人民共和国の教育機関の方は、CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する有効期限内の「教育部学历证书电子注册备案表（英語版）」を PDF ファイルで入手後、A4 用紙に印刷し、提出してください。こちらの日本語訳の提出は不要です。手続きの詳細は、CHSI（中国高等教育学生信息网）のウェブサイト（<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）をご確認ください。

（注 2）大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書の写し、授与見込の者については大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書又は下記の①及び②の書類を提出してください。

- ①志願者が在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書
- ②志願者が学位の授与を申請する予定である旨の志願者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の証明書

(8) その他

- ア 納付された入学検定料及び提出された書類は、返還しません。
- イ 提出書類の不備のものは、受理しません。
- ウ 記入ミスをしたときは、誤記した文字を二重線で抹消してください。(訂正印は不要)
- エ 各種証明書は、出願前3か月以内に取得したものを提出してください。また、各種証明書と現在の氏名が異なる場合は、氏名変更の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
- オ **受験票は、入学手続の時まで大切に保管してください。**
- カ 外国語の出願書類がある場合は、そのすべてに日本語訳を添付してください。ただし、出身大学が中華人民共和国の教育機関の方は、CHSIが発行した教育部学历证书电子注册备案表（英語版）については、日本語訳の提出は不要です。
- キ 試験は、対面で実施します。海外から来日し受験を検討している方は、日本へ入国・滞在できるか否かについて、出願前に必ずご自身で確認してください。入国できない場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。
- ク 外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)において、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。
- ケ **受験票は、令和8年9月2日（水）以降に送付します。9月9日（水）までに届かなかった場合、入試課までお問合せください。**

5 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がい等を有する本学入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に入試課（0561-76-2603）に相談し、出願前に申請書等を提出してください。

- (1) 相談の時期
令和8年7月21日(火)必着
- (2) 相談の方法
相談申請書に医師の診断書（身体障害者手帳を有する者はその写し）を添えて、入試課まで書面で提出してください。相談申請書には次の事項を記載してください。（様式任意。参考例を本学ウェブサイトに掲載しています。）
 ①志望領域 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項
 ④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項
 申請後、必要な場合は、本研究科において志願者との面談等を行います。

6 出願書類・相談申請書提出先及び受験・研究内容等に関する照会先

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114 愛知県立芸術大学 入試課

電話 0561-76-2603（直通）（照会時間は平日午前9時から午後5時まで）

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

メールアドレス admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

※希望指導教員への連絡について

指導を希望する専任教員と事前に連絡を取り、研究内容について相談することができます。その際は出願前に入試課へメールを送ってください。件名に「音楽研究科 ○○領域出願について」と記載し、本文に「氏名、連絡先、希望する指導教員名」を合わせて明記してください。

7 選 抜 方 法

入学者の選考は、以下のとおり行います。（試験場：本学）

第一次選考 実技試験等（作品審査含む）の成績による判定

最終選考 第一次選考の結果、学力検査及び面接試験の結果を総合した判定

(1) 評価基準

本学大学院音楽研究科で、研究を深めるために必要な実技の能力と学力を問います。

(2) 判定基準

専門領域の能力を重視し総合的に判断します。

8 試験日程及び試験科目

領 域 年月日		音 楽 学	作 曲	声 楽	鍵盤楽器	弦 楽 器	管・打楽器
令和8年 10月17日 (土)	第 一 次 選 考 ※1	研究計画に基づく 口述試験 13:00～	提出作品と 研究計画に 基づく 口述試験 13:00～	実 技 9:30～	実 技 9:30～	実 技 10:00～	実 技 10:00～
10月18日 (日)	最 終 選 考 ※2	第一次選考合格発表 8:00 場所：本学管理棟で掲示及びウェブサイト掲載（※2・3）					
		外国語（英、独、 仏、伊から1ヶ国 語）10:00～11:30 ※集合時刻 9:45	外国語（英、独、仏、伊から1ヶ国語） 9:30～10:30 ※集合時刻 9:15 西洋音楽史 11:00～12:00				
		音楽学 12:30～14:00		面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	面接試験 13:00～
10月27日（火）		最終合格発表 11:00 場所：本学管理棟で掲示及びウェブサイト掲載（※3）					

※1 実技試験内容及び課題曲については11～17ページ「実技試験内容及び課題曲」を参照してください。

※2 最終選考は、第一次選考合格者のみ受験することができます。

※3 本学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

本学ウェブサイト「入試情報」にて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。

情報提供には万全を期しておりますが、学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

【注意事項】

- ・音楽学領域以外の外国語については、辞書の持ち込みを1冊のみ許可します。ただし、電子辞書の使用は認めません。外国人留学生は上記に加えて母国語⇄日本語の辞書の持ち込みを許可します。
- ・音楽学領域の外国語については、辞書の持ち込みは不可とします。
- ・西洋音楽史については、外国人留学生は母国語⇄日本語の辞書の持ち込みを許可します。ただし、電子辞書の使用は認めません。また、音楽辞典などの言語系ではない辞書の使用は認めません。
- ・なお、試験当日に監督者により持ち込む辞書の確認をさせていただく場合があります。
- ・外国人留学生は辞書について質問があれば、事前に入試課に問い合わせてください。
- ・遅刻した場合、受験できないことがありますので注意してください。
- ・入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治療していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- ・上記により受験をご遠慮頂いた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。体調管理については十分に注意してください。

9 合 格 発 表

- (1) 日 時 令和 8 年 10 月 27 日(火)午前 11 時
- (2) 場 所 本学管理棟で掲示（電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。）

※合格者には、入学許可通知書及び入学ガイド（入学手続要領）を郵送します。

※本学ウェブサイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。

情報提供には万全を期しておりますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

本学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



(3) 追加合格

定員に欠員が生じた場合は、追加合格を行う場合があります。追加合格実施の有無は、令和 8 年 12 月 23 日（水）午後 5 時に本学ウェブサイト「入試情報」にて発表します。

追加合格を実施する場合は、令和 8 年 12 月 24 日（木）午前 9 時から午前 10 時の間に電話で連絡します。ただし、電話に出ない場合もしくはその場で諾否の意思表示ができない場合は、入学を辞退したものとみなします。

10 入 学 手 続

期間

令和 8 年 12 月 14 日（月）から 18 日（金）まで 締切日消印有効

※提出書類を「簡易書留速達郵便」により郵送してください。

※ただし、日本国外から郵送する場合は締切日午後 5 時必着とします。

- (1) 入学料及び保険料
284,430 円
(内訳) ・入学料 282,000 円
・学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険 保険料 2,430 円（2 年間分）
- ア 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、入学料及び保険料は改定されることがあります。
- イ 納付された入学料は返還しません。
- (2) 入学料及び保険料の振込にあたってのお願い
- ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を納入し、指定された期日に入学手続をしてください。
- イ 入学料及び保険料の納入は、金融機関の窓口から行ってください。
ゆうちょ銀行及び ATM からは送金しないでください。
- ウ 振込金依頼書の「ご依頼人」欄は合格者本人の氏名を記入してください。
- (3) 入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- (4) 入学手続を完了した者であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和 9 年 3 月 31 日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

11 授 業 料

年額 535,800 円（前期・後期各 267,900 円。前期分は 4 月、後期分は 10 月に納入します。）

授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。

なお、授業料は改定されることがあります。

12 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について

(1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

- ② 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害(※1)を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養(※2)、会社の倒産・解雇等による失業(※3)又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

※1：市町村長等から「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づく「全壊」、「大規模半壊」及び「半壊」のいずれの認定を受けたことをいう。

※2：長期（6か月以上をいう）に入院する必要が生じたことをいう。

※3：会社の倒産・解雇等による失職のことをいう。定年や自己都合による退職はこれに含まない。

問合せ期限	令和8年7月24日（金）
-------	--------------

(2) 入学料の還付

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が還付されます。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

※入学料は必ず全額納付してください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害(※1)を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養(※2)、会社の倒産・解雇等による失業(※3)又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

※1：市町村長等から「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づく「全壊」、「大規模半壊」及び「半壊」のいずれの認定を受けたことをいう。

※2：長期（6か月以上をいう）に入院する必要が生じたことをいう。

※3：会社の倒産・解雇等による失職のことをいう。定年や自己都合による退職はこれに含まない。

問合せ期限	令和8年12月4日（金）
-------	--------------

(3) 授業料の免除

○日本人学生

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。詳細は、本学ウェブサイト又は入学後に本学ポータルサイトでご確認ください。なお、要件は改定されることがあります。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- ③ 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- ④ 上記①、②、③以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細は入学後に本学ポータルサイトでご確認ください。※内容については、今後変更する可能性があります。

(4) 問合せ先

学務部学務課 E-mail g-shien@mail.aichi-fam-u.ac.jp

13 入試結果の閲覧

愛知県個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、音楽研究科入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の閲覧を求めることができます。

- | | |
|------------------|---|
| (1) 閲覧できる範囲 | 領域別実技試験ランク、面接試験のランク（A、B、C、D、Eの5ランクで開示します。）、科目別得点 |
| (2) 閲覧できる期間 | 令和8年10月27日(火)合格発表時刻～令和8年11月26日(木)午前9時から午前11時30分まで及び、午後0時30分から午後5時まで。
ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。 |
| (3) 閲覧の受付窓口 | 本学管理棟3階 芸大総務課
受験者本人が、口頭で芸大総務課に申し出てください。 |
| (4) 閲覧の方法 | 本人部分のみ閲覧。 |
| (5) 閲覧に必要な書類 | ①受験票
②本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカードその他官公署の発行する証明書等） |
| (6) その他 | 電話、E-mail 等による成績のお問い合わせには応じません。 |
| (7) 閲覧に関する問い合わせ先 | 芸大総務課 電話 0561-76-2408（直通） |

入試結果の情報提供

受験者本人の申し出に限り、郵送による成績の情報提供を行います。
申込方法及び申請書など、詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。
なお、提供する情報は上記の「(1) 閲覧できる範囲」と同じ内容です。

14 個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関連する法令に基づき適切に管理します。

- (1) 利用目的について
出願にあたって提出された氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜並びに必要な応じ入学後の学籍管理、学習指導及び学生支援関係業務において利用します。
- (2) 第三者への個人情報の提供
取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。
ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

15 安全保障輸出管理について

愛知県立芸術大学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき、国際的な平和及び安全の維持に寄与することを目的として「愛知県立芸術大学安全保障輸出管理規程」を制定し、適切に対応します。外国人留学生等の受け入れに際して実施する事前確認の結果により、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますのでご注意ください。

16 教 員 組 織（令和8年4月1日現在）

音楽研究科長 成 本 理 香

客 員 教 授 鍵 盤 楽 器 クラウディオ・ソアレス（ピアノ）
 弦 楽 器 フェデリコ・アゴスティーニ（ヴァイオリン）
 オーケストラ 高関 健（指揮）
 オーケストラ ユベール・スダーン（指揮）

客 員 教 授 作 曲 ゼミソン・ダリル
 （短期招聘） 管・打楽器 エッディ・ヴァノーストイゼ

作 曲 教 授 山本 裕之 教 授 成 本 理 香
 准 教 授 安野 太郎 准 教 授 渡辺 裕紀子

音楽学 教 授 安原 雅之◎ 教 授 東谷 護
 准 教 授 七條 めぐみ

声 楽 教 授 森川 栄子（ソプラノ） 教 授 小原 啓楼（テノール）
 教 授 初鹿野 剛（バリトン） 准 教 授 川島 幸子（ソプラノ）
 准 教 授 森 寿美（バリトン） 准 教 授 相田 麻純（メゾソプラノ）

鍵盤楽器 教 授 掛谷 勇三（ピアノ） 教 授 内本 久美（ピアノ）
 教 授 鈴木 謙一郎（ピアノ） 教 授 中尾 純（ピアノ）
 教 授 武内 俊之（ピアノ） 准 教 授 秋場 敬浩（ピアノ）
 講 師 今田 篤（ピアノ）

弦楽器 教 授 福本 泰之（ヴァイオリン）◎ 教 授 白石 禮子（ヴァイオリン）
 教 授 桐山 建志（ヴァイオリン） 教 授 渡邊 玲雄（コントラバス）
 准 教 授 西谷 牧人（チェロ）

管・打楽器 教 授 深町 浩司（パーカッション） 教 授 倉田 寛（トロンボーン）
 教 授 橋本 岳人（フルート） 准 教 授 ブルックス信雄トーン（クラリネット）
 准 教 授 井上 圭（トランペット）

教養教育等 教 授 石垣 享（特殊研究）
 教 授 井上 彩（原典研究・英語）
 教 授 大塚 直（原典研究・独語）
 准 教 授 菅野 類（原典研究・伊語）

◎ … 令和9年3月退職予定

非常勤講師

作 曲

キム ヨハン（特殊研究）

三輪 眞弘（特殊研究）

小林 聡（特殊研究）

久保 哲朗（現代の音楽）

長江 和哉（特殊研究）

音楽学

黄木 千寿子（特殊研究、音楽学基礎演習）

大山 昌彦（特殊研究）

山口 真季子（特殊研究）

声 楽

井上 ゆかり（声楽実技）

五月女 智恵（声楽実技）

三輪 陽子（声楽実技）

澤村 杏太朗（オペラ総合演習、重唱）

相可 佐代子（声楽実技）

田島 茂代（声楽実技）

飯塚 励生（オペラ総合演習）

廣瀬 啓子（オペラ総合演習、重唱）

大槻 孝志（声楽実技）

船越 亜弥（声楽実技）

掛川 歩美（オペラ総合演習）

鍵盤楽器

阿見 真依子（ピアノ実技）

伊藤 隆之（ピアノ実技）

川井 綾子（ピアノ実技）

酒井 有彩（ピアノ実技）

平沢 匡朗（ピアノ実技）

松川 儒（ピアノ実技）

平井 み帆（チェンバロ実技）

飯田 あかね（ピアノ実技）

大崎 由貴（ピアノ実技）

北住 淳（ピアノ実技、特殊研究）

田中 ゆりあ（ピアノ実技）

廣瀬 啓子（ピアノ実技）

宮代 尚子（ピアノ実技）

吉田 恵（オルガン実技）

石井 園子（ピアノ実技）

奥村 理恵（ピアノ実技）

久米 隆司（ピアノ実技）

西山 郁子（ピアノ実技）

扶瀬 絵梨奈（ピアノ実技）

山口 雅敏（ピアノ実技）

弦楽器

小林 美恵（ヴァイオリン実技、特殊研究）

花崎 薫（チェロ実技）

景山 梨乃（ハープ実技、オーケストラ）

島田 真千子（ヴァイオリン実技）

佐渡谷 綾子（コントラバス実技）

野村 友紀（オーケストラ）

中村 洋乃理（ヴィオラ実技）

石橋 直子（オーケストラ）

平光 真彌（オーケストラ）

管・打楽器

満丸 彬人（フルート・ピッコロ実技）

遠藤 文江（クラリネット実技）

ロドルフォ・ラ・バンカ（クラリネット実技）

ゲオルギ・シャシコフ（ファゴット実技、室内楽）

西條 貴人（ホルン実技）

田中 宏史（トロンボーン実技）

露木 薫（ユーフォニアム実技）

矢澤 定明（ウインドオーケストラ）

多久和 怜子（室内楽）

舟橋 知奈美（室内楽）

上品 綾香（オーボエ実技、室内楽）

田本 摂理（クラリネット実技）

宇賀神 広宣（ファゴット実技）

平野 公崇（サクソフォーン実技）

長谷川 智之（トランペット実技）

菅原 薫（バストロンボーン実技、室内楽）

林 裕人（テューバ実技）

秋口 響哉（室内楽）

橋本 眞介（室内楽）

八木 健史（室内楽）

岡 北斗（オーボエ実技）

船隈 慶（クラリネット実技）

大津 敦（ファゴット実技、室内楽）

安土 真弓（ホルン実技）

宮本 弦（トランペット実技、室内楽）

小久保 まい（ユーフォニアム実技）

小森 邦彦（マリンバ実技、室内楽）

香川 慎二（室内楽、オーケストラ）

松原 孝政（室内楽）

清水 太（オーケストラ）

教養教育等

ロムアルド・パローネ（特殊研究）

礪田 有香（複合芸術研究）

内田 智秀（原典研究・仏語）

オーケストラ

澤村 杏太朗（オーケストラ）

松川 智哉（オーケストラ、指揮法）

松本 宗利音（オーケストラ）

■実技試験内容及び課題曲

＜「Ⅰ．作曲領域の提出作品」及び「Ⅱ．音楽学領域の研究計画書」の提出時の共通事項＞

- (1) 提出期間：令和 8 年 9 月 10 日（木）から 9 月 17 日（木）午後 5 時まで
- (2) 提出先：入試課
- (3) 郵送の場合は、簡易書留速達郵便により締切日消印有効とします。
(ただし、日本国外から郵送する場合は締切日午後 5 時必着とします。)
なお、封筒の表に必ず「音楽研究科音楽専攻作曲領域提出作品」又は「音楽研究科音楽専攻音楽学領域研究計画書」と朱書してください。
- (4) 直接提出する場合は、午前 10 時から午後 5 時までとします。(ただし、土・日曜日、祝日等、大学が休業となる日は受け付けません。)

I. 作曲領域の提出作品

4 曲以上（楽曲の編成、種類は問わない）の作品を提出してください。

提出作品は、楽譜・音源・動画のいずれか、または複数の形式で提出することができます。ただし少なくとも 2 作品は楽譜の形で提出してください。楽譜がなく音源や映像のみの作品は、楽曲の構造などを表す図表や指示書、作品についての解説などを提出してください。楽譜及び楽譜に準ずる資料は紙媒体のコピー（A3 サイズ以下）とし、作品タイトル・制作年・志願者氏名を明記し提出してください。必要に応じて補足説明等も添えてください。提出作品は必ず本人の制作物とします。（作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください）

※ 音源・動画の提出方法について

動画共有サイト YouTube に限定公開でアップロードし、その URL を下記メールアドレスに送ってください。音源のみの場合も、静止画を添えて動画形式にして投稿してください。（YouTube へのアップロード方法は別途、本学ウェブサイトに掲載のマニュアルを参照してください。）

メールアドレス：admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

（注）件名は「音楽研究科作曲領域提出作品」とし、本文に作品タイトル・制作年・志願者氏名を明記してください。

＜音源・動画の提出に関する注意事項＞

- ・動画のタイトルに作品タイトル・制作年・志願者氏名を明記してください。
例：『題名』（制作年）志願者氏名
- ・動画の元データは試験が終了するまで各自で保存してください。
- ・アップロードした動画は合格発表まで削除しないでください。合格発表後、志願者本人により削除してください。
- ・審査時に動画を閲覧できない状態になっている場合は、失格となる可能性があります。
- ・動画の作成方法に関する問い合わせには一切応じません。

※ 返却返信用封筒について

- 1 作品の入る封筒に、「返却作品在中」と朱書きしてください。
- 2 返却方法は、郵便局のゆうパックとします。

ゆうパック送り状（料金着払い用）に以下を記入してください。

【お届け先】に、志願者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入。

【ご依頼主】に、同上と記入。【品名】に、楽譜と記入。【配達希望日】は記入しない。

- 3 上記のゆうパック送り状を返却用封筒に貼付してください。

II. 音楽学領域の研究計画書

4,000 字程度の研究計画を所定の様式で、提出してください。

Ⅲ. 声楽領域実技

- (1) アリアと歌曲の両方によって構成する 10 分以上 15 分以内のプログラムを組み、入学願書の「受験曲目」欄に【①作曲者名、②曲名、③曲ごとの演奏時間】を記入し提出してください。演奏時間には曲間は含みません。実質的な演奏時間が 10 分未満の場合は失格とします。

※ アリアと歌曲の両方を必ず演奏してください。

※ アリアは、オペラ・アリア、オペレッタ・アリア、コンサート・アリア、あるいは宗教曲のアリアとし、原則として原調での演奏とします。

※ 演奏はすべて暗譜でおこなってください。

※ 作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。

※ 曲目は当日指定する場合があります。

- (2) 受験者は伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

Ⅳ. 鍵盤楽器領域（ピアノ）実技

下記の(a) (b) (c)を必ず含むピアノ独奏作品による 40 分以上のプログラムを用意してください。

(a) バロック時代の任意の作品

(b) 古典派（J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethoven に限る）の任意の作品

(c) ロマン派以降の任意の作品

※ 出版されている作品に限ります。内部奏法などの特殊奏法を用いた作品は不可。

※ (a) (b) (c)はそれぞれ複数曲の選択も可。

ただし、入学願書の「受験曲目」欄に記載した順番で演奏してください。

※ 暗譜で演奏してください。試験当日に演奏箇所を指定する場合があります。

Ⅴ. 弦楽器領域実技

<弦楽器領域共通事項>

- (1) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (2) 他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

○ヴァイオリン

次の 2 曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Sonaten für Violine solo g-moll BWV1001、a-moll BWV1003、C-dur BWV1005

より任意の Fuga を 1 曲。

原典版の使用が望ましい

- (2) 次のグループ(a)～(g)より任意の 1 曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。

使用版は自由

(a) L. v. Beethoven: Konzert D-dur Op. 61

(b) J. Brahms: Konzert D-dur Op. 77

(c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll Op. 64

(d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur Op. 35

(e) A. Dvořák: Konzert a-moll Op. 53

(f) J. Sibelius: Konzert d-moll Op. 47

(g) B. Bartók: Konzert Nr. 2 Sz. 112

○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo BWV1007～1011 より任意の Prélude を1曲。

使用版は自由

- (2) 次のグループ(a)～(c)より任意の1曲の第1楽章。

伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。

使用版は自由

- (a) W. Walton: Konzert
- (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher”
- (c) B. Bartók: Konzert (遺作)

○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Nr. 3 BWV1009、Nr. 4 BWV1010、Nr. 5 BWV1011、Nr. 6 BWV1012 より任意の Prélude を1曲。

使用版は自由

- (2) 次のグループ(a)～(e)より任意の1曲を演奏してください。

伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。

使用版は自由

- (a) J. Haydn: Konzert D-dur Hob. VIIb: 2 より第1楽章＜カデンツァを含む＞
- (b) A. Dvořák: Konzert h-moll Op. 104 より第1楽章
- (c) R. Schumann: Konzert a-moll Op. 129 より第1楽章
- (d) E. Elgar: Konzert e-moll Op. 85 より第4楽章
- (e) P. I. Tchaikovsky: Variations on a Rococo Theme Op. 33 全曲

○コントラバス

次の2曲を、いずれもソロチューニングで演奏（暗譜）してください。

- (1) H. Fryba: Suite im alten Stil (A Suite in the Olden Style) für Kontrabass solo
より Prélude

使用版は自由

- (2) 以下の協奏曲の中から1曲を選び、その第1楽章および第2楽章。

伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。

使用版は自由

- S. Koussevitzky: Konzert fis-moll
- G. Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

○ハープ

次の2曲をすべて繰り返しなしで演奏（暗譜）してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。

- (1) F. Godefroid: Etude de concert Op. 193

使用版は自由

- (2) C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien

使用版は自由

(8番バリエーションの終わりに明記されているカットを行なって演奏すること)

VI. 管・打楽器領域実技

<管・打楽器領域共通事項>

- ※ マリンバの受験者を除くすべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。
- ※ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- ※ 受験曲目については、フルート、オーボエ、サクソフォーン、パーカッション、マリンバの曲目以外は入学願書に記入する必要はありません。

○フルート

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

(1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。

(a) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 1 in G major K. 313 全楽章

(b) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 2 in D major K. 314 全楽章

・カデンツァ付き、カデンツァは任意のもの。

・演奏箇所は当日指定します。

(2) 自由曲（ただし、協奏曲は除く）

・1800年以降、フルートのために作曲された作品から1曲選択すること。

・7分～8分程度で演奏すること。カットして演奏することも可。

・無伴奏曲も可。

○オーボエ

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。

(1) W. A. Mozart: Concerto in C major K. 314 第1、2楽章<カデンツァ付き>

使用版は自由

(2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。

(a) H. Holliger: Sonate für Oboe solo より

Schott 版

I Präludium と II Capriccio

(b) A. Dorati: 5 pièces pour le hautbois より

Boosey & Hawkes 版

第1曲と第5曲

(c) G. Silvestrini: 6 études pour le hautbois より

Delatour 版または Editions du Hautbois 版

第1曲と第6曲

○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

(1) W. A. Mozart: Konzert für Klarinette und Orchester K. 622

第1・3楽章はカデンツァなし、第2楽章はカデンツァありで演奏してください。

(2) I. Stravinsky: Three Pieces for Clarinet Solo

○ファゴット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

- (1) F. Devienne: Sonata in F Op. 24 No. 3
1. Allegro 2. Largo 3. Rondo Allegretto
- (2) E. Bozza: Récit, Sicilienne et Rondo

○サクソフォーン

下記の課題曲Aと課題曲Bを演奏してください。

(課題曲A)

下記の曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) J. Ibert: Concertino da Camera より第1楽章 A. Leduc 版
- (2) H. Tomasi: Concerto pour Saxophone Alto et Orchestre より A. Leduc 版
第1楽章の練習番号32の前まで
- (3) I. Dahl: Concerto for Alto Saxophone and Wind Ensemble より第1楽章 Schott 版

(課題曲B)

下記の曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。演奏箇所は当日指定します。

- (1) A. Waignein: Rhapsody for Alto Saxophone and Orchestra or Piano より Scherzando 版
任意の2つの楽章
- (2) E. Denisov: Sonate pour Saxophone Alto et Piano 全楽章 A. Leduc 版
- (3) P. Creston: Saxophone Concerto Op. 26 より G. Schirmer 版
第1楽章と第2楽章、もしくは第2楽章と第3楽章
- (4) E. Larsson: Concerto for Saxophone and String Orchestra Op. 14 より Gehrmans 版
第1楽章と第2楽章
- (5) L. Robert: Cadenza pour Saxophone mib et Piano Billaudot 版
- (6) I. Gotkovsky: Concerto pour Saxophone Alto et Orchestre より Transatlantiques 版
任意の1つの楽章
- (7) P. Bonneau: Capris en Forme de Valse A. Leduc 版
- (8) 棚田文紀: Mysterious Morning III Lemoine 版
- (9) L. Berio: Sequenza VII b Universal 版
- (10) A. Desenclos: Prelude Cadence et Finale pour Saxophone Alto et Piano A. Leduc 版

○ホルン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

R. Strauss: Concerto for Horn and Orchestra No.1 in E flat major, Op. 11

使用版は自由

全楽章を演奏、ただし伴奏部分カットあり。カットの箇所は以下を参照。

- ・第1楽章…冒頭から演奏後、7小節目に入らず25小節目に入り131小節目まで（ピアノは初めの和音を二分音符分伸ばして終わる）演奏してください。
- ・第2楽章…Andante 部分から演奏開始、そのまま第3楽章最後まで演奏してください。

○トランペット

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。楽器の指定はありません。

J. Haydn: Trumpet Concerto in E flat major Hob. VIIe:1

使用版は自由

○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

(1) F. David: Concertino in Eb, Op. 4

Zimmermann 版

暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。

(2) V. Persichetti: Parable for Solo Trombone Op. 133

Theodore Presser Company 版

暗譜の必要はありません。

○バストロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

(1) F. David: Concerto (Concertino) in Bb for Bass Trombone

Zimmermann 版

暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。

(2) J. S. Bach: Cello Suite No. 5 BWV1011 より Sarabande

使用版は自由

繰り返しありで演奏してください。暗譜の必要はありません。

○ユーフォニアム

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

J. Horovitz: Euphonium Concerto 全楽章

Novello 版

○テューバ

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

J. Koetsier: Concertino Op. 77 for Tuba and String Orchestra

Editions Bim 版

○パーカッション

下記の2曲を演奏してください。

(1) セットアップを含む楽器編成による任意の楽曲(10分程度、省略可)

(2) ティンパニによるオーケストラスタディ

G. F. Händel: Der Messiah HWV56 より Hallelujah (ピアノ伴奏付き)

ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版 (Edition Breitkopf 2419)を使用してください。

- ・課題(1)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・入学願書の「受験曲目」欄に、使用する楽器(持参する楽器も含む)を記入してください。
- ・大物打楽器は本学所有のものを使用いただけますが、持参する楽器がある場合は、出願の際に申し出て、搬入・搬出方法について本学と協議してください。
- ・課題(1)の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。

○マリンバ

下記の曲を演奏してください。

マリンバによる、12 分程度の無伴奏独奏曲（省略不可）。暗譜で演奏してください。

（参考例）向井耕平：Prelude and Allegro

A. Viñao: Khan Variations

J. Schwantner: Velocities

R. R. Bennett: After Syrinx II

- ・上記の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・上記の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。
- ・マリンバは本学所有のもの（ヤマハ：YM-5100A）を使用してください。

■令和 8 年度音楽研究科博士前期課程入学試験実施状況

音 楽 研 究 科	領 域	募集 人員	志願者数	受験者数	一次合格者数	最終合格者数	入学者数
	作 曲	30	2	2	2	2	2
	音 楽 学		1	1	1	1	1
	声 楽		21	21	13	9	9
	鍵 盤 楽 器		20	19	11	10	10
	弦 楽 器		10	9	9	7	7
	管・打楽器		19	17	7	5	4
	計	30	73	69	43	34	33

■令和8年度音楽研究科博士前期課程入学試験問題

西洋音楽史（作曲／声楽／鍵盤楽器／弦楽器／管・打楽器領域）

【試験問題】

I. 次の（１）～（４）からひとつ選び、古典派からロマン派にかけてどのように変遷したか、作曲家と作品名を具体的に挙げながら説明してください。文字数の制限はありません。

- （１）オペラ
- （２）ピアノ・ソナタ
- （３）弦楽四重奏曲
- （４）交響曲

II. 20 世紀以降の西洋音楽について、次の（１）～（４）からひとつ選び、作曲家や作品名を具体的に挙げながら説明してください。文字数の制限はありません。

- （１）新ウィーン楽派
- （２）新古典主義
- （３）偶然性の音楽
- （４）ミニマル・ミュージック

III. 問題文に合うように、語群から正しいものを選んでください。

中世後期にあたる 13 世紀、多声音楽の新たなジャンルとして（１）が誕生した。（１）はフランス語の「言葉」という語に由来し、聖歌の旋律に新たな声部と歌詞を付け加えることで成立した。14 世紀のヴィトリヤ（２）の（１）では、「コロル」と呼ばれる旋律型と、「タレア」と呼ばれるリズム型を用いる（３）の技法が用いられた。同じ 14 世紀、イタリアではマドリガーレやバッラータなどの世俗歌曲が興隆した。中でも、盲目のオルガニストであった（４）は、6 度音から主音に解決する独特な終止形の由来となったことで知られる。なお、この時代の世俗音楽を総称して（５）の音楽と呼ぶ。

16 世紀にドイツで始まった（６）により、ヨーロッパ各地でキリスト教の新勢力が生まれた。そのひとつであるルター派では（７）といって、ドイツ語による単旋律聖歌が作られた。イギリスでは英国国教会が創始され、新たな典礼の形式としてサーヴィスと（８）が整備された。一方で、カトリック教会では（６）に対抗する動きがみられ、一時はポリフォニー音楽に批判の目が向けられたが、（９）によってバランスのとれた対位法の様式が打ち出され、後世の作曲家の模範となった。なお、ルター派の（７）はバロック時代にかけて、オルガンで演奏される前奏曲や、教会（１０）の主題としても用いられるようになる。

バロック時代にイタリアで誕生したオペラは、古代ギリシャ演劇の復活を目指して作られた。初期オペラの代表作であるモンテヴェルディの（１１）では、語りと歌の間のような旋律と、通奏低音の伴奏による（１２）様式が確立された。オペラはその後、フランスやイギリスでも発展した。フランスではリュリが（１３）を創始し、イギリスでは（１４）が英語によるオペラを書いたが、のちに（１５）によってイタリア・オペラの流行がもたらされた。

1720 年代～80 年代の期間は「（１６）」と呼ばれる。この頃、ヨーロッパの社会体制の変化にともない、音楽文化の担い手が王侯貴族から市民階級へと移り変わっていった。都市部ではパリの「コンセル・スピリチュエル」に代表されるような（１７）が開催され、音楽家が国際的に活躍する場となった。音楽表現においては「分かりやすさ」が求められるようになり、単純な構造の旋律に明快な伴奏がついた（１８）様式が好まれた。その他にも、北ドイツを中心に「疾風怒濤」運動の流れをくむ多感様式も流行したが、これはフリードリヒ大王に仕えた（１９）などの作品で知られる。管弦楽の分野では、シュターミツやカンナビヒなどの（２０）楽派が、劇的な強弱法を用いた交響曲を生み出した。

語群（解答欄に記入するのは記号のみで構いません）

あ	オペラ・セリア
い	トレチェント
う	エルガー
え	レチタティーヴォ
お	公開演奏会
か	マシヨール
き	ヴィヴァルディ
く	アイソリズム
け	楽譜出版
こ	ロマン派
さ	ヘンデル
し	コラール
す	《リナルド》
せ	ギャラント
そ	カンタータ
た	アンセム
ち	J. S. バッハ
つ	オラトリオ

て	《オルフェオ》
と	モテット
な	C. P. E. バッハ
に	コンクール
ぬ	宗教改革
ね	トラジェディ・リリック
の	ポピュラー
は	ランディーニ
ひ	グルック
ふ	前古典派
へ	通作ミサ
ほ	バレストリーナ
ま	オルガヌム
み	レクイエム
む	マンハイム
め	コンチェルト
も	パーセル
や	国民

【出題の意図】

大学院での研究に必要な音楽史の基礎的知識を備えているかを問う。音楽史におけるさまざまな様式を認識し、それを歴史的な脈絡で捉えるための知識が必要とされる。

【解答】

I（記述式問題のため、省略）

II（記述式問題のため、省略）

III （1）と （2）か （3）く （4）は （5）い （6）ぬ （7）し （8）た （9）ほ
（10）そ （11）て （12）え （13）ね （14）も （15）さ （16）ふ （17）お
（18）せ （19）な （20）む

音楽学（音楽学領域）

【試験問題】

I. 別紙の文章を読み、あなたの研究の長所と短所を明示した上で、あなたが研究をすすめるときにどのようなことを心がけますか。自由に論じてください。なお、文字数の制限はありません。

【出典】

・岸磨貴子「アートベース・リサーチへのいざないー訳者あとがき」パトリシア・リーヴィー『研究法がアートと出会うとき』（福村出版、2025年）

II. 次の（1）～（5）からひとつ選び、論じてください。なお、文字数の制限はありません。

- （1） 西洋音楽における演奏史
- （2） 音楽資料としての「旅行記」
- （3） 日本の音楽文化におけるヤマハ
- （4） 近代日本の音楽文化にみる「官」と「民」
- （5） ポピュラー音楽研究における作品論の問題点

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な基礎的知識および理解力、資料読解力、論述力を備えているかを問う。

【解答】（記述式問題のため、省略）

外国語〔英語・独語・仏語・伊語〕（作曲／声楽／鍵盤楽器／弦楽器／管・打楽器領域）

【出題の意図】

大学院での研究に必要な外国語の文献を理解する能力を備えているかを問う。外国語の文章の語句、節、文レベルの理解だけでなく、段落全体の論旨の展開を把握する読解力が必要とされる。また、解答に際しては原文の理解を正確な日本語で訳出することが求められる。

【出典】

- 〔英語〕・Juslin, Patrick N., and Renee Timmers. “Expression and communication of emotion in music performance.” In *Handbook of Music and Emotion: Theory, Research, Applications*, edited by Patrik N. Juslin and John A. Sloboda. Oxford: Oxford University Press, 2010.
- ・McClary, Susan. “The blasphemy of talking politics during Bach Year.” in *Music and Society: The Politics of Composition, Performance and Reception*, edited by Richard Leppert and Susan McClary. Cambridge: Cambridge University Press, 1987.
- 〔独語〕・Erich Kästner: *Der Kleine Grenzverkehr*. Zürich: Atrium-Verlag 2017.
- 〔仏語〕・Syreishchikova-Horn. Anastasiia, «Hector Berlioz et l’espace médiatique russe au XIX^e siècle», *Revue musicale OICRM*, Volume 7, numéro 1, 2020.
- 〔伊語〕・P. Olivares, M.S. Seguí, E. Alcalaz, S. Frescura, M. Minetti, *L’italiano per l’Opera*, 2021, Alma Edizioni
- ・Arianna Ghilardotti, *Le vite dei grandi musicisti*, 2023, 24 ORE Cultura

外国語〔英語〕（音楽学領域）

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な、語学的能力を備えているかを問う。

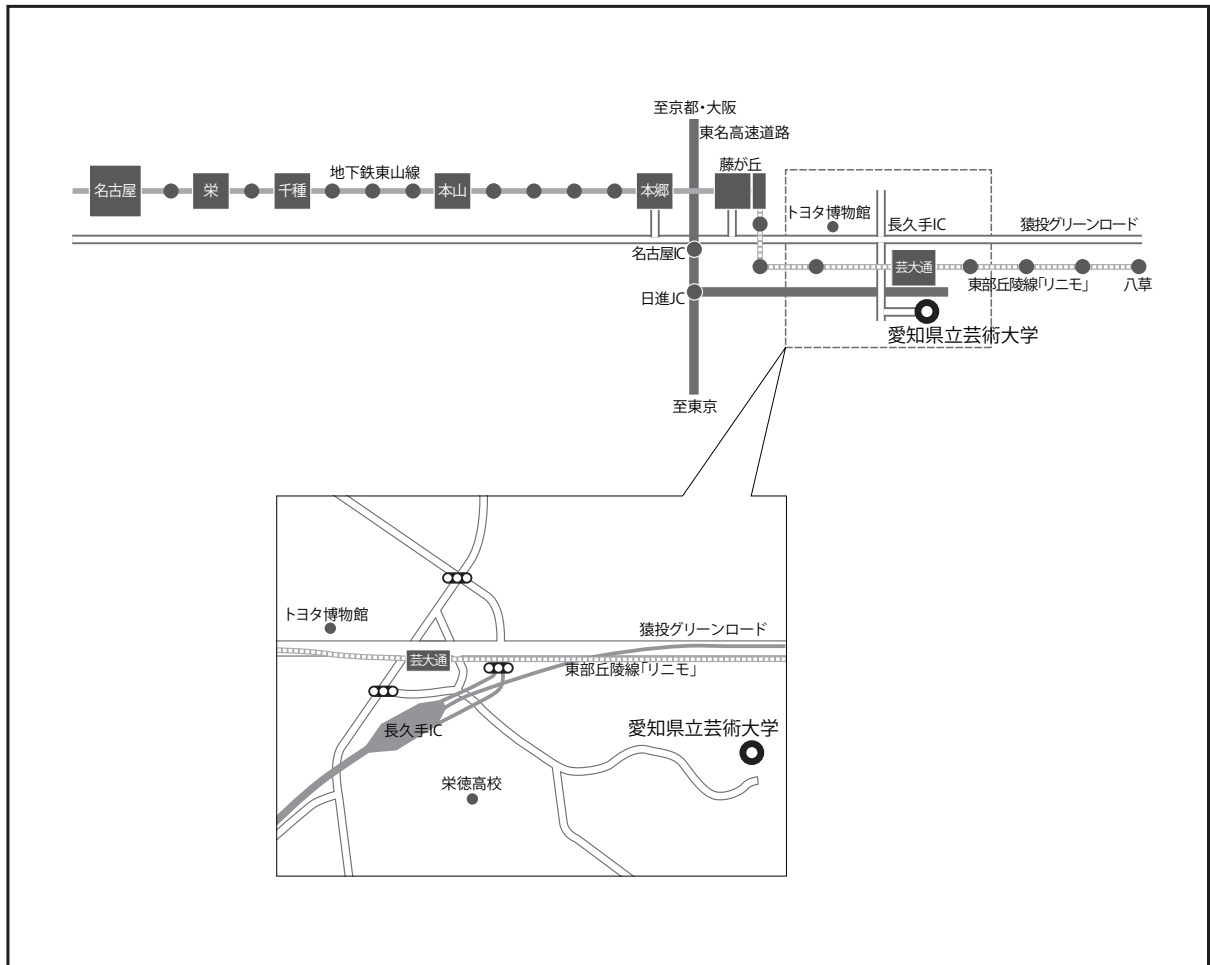
【出典】

- 〔英語〕・Brandi A. Neal. “Hip-Hop History.” In: *Notes*, September 2025, Vol.82, No.1
- ・Kerim Yasar. *Electrified Voices: How the Telephone, Phonograph, and Radio Shaped Modern Japan, 1868-1945*. Columbia University Press, 2018.

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

（閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで）

所在地案内図



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）



愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114
TEL 0561-76-2603 (入試課直通)
愛知県立芸術大学ウェブサイトURL:
<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

